

平成 31 年度岡山市市民協働推進モデル事業 最終評価表

| | | | | | |
|------|--------------|------|---------|-----|----------------|
| 実施団体 | 西川エリアまち育て協議体 | 協働部署 | 庭園都市推進課 | 記入日 | 令和 2 年 3 月 5 日 |
|------|--------------|------|---------|-----|----------------|

1. 事業の目標と達成状況

| 目標 | 目標に対する現在の状況 | ESD・市民協働推進センターより |
|--|--|--|
| <p>【地域連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー事業・町内会への参画等による地域との関係性構築 協議体・岡山市・警察・町内会と共に定期的な会議 街を巻き込むイベントの企画 | <ul style="list-style-type: none"> 協議体定例会議に連合町内会長に出席いただいている 警察が参加したこともあり、つながりをしっかり持つことができた 協議体の動きではないが、警察がエリア内を巡回することもある 6～8月 西川パフォーマー事業「ジャズイン西川」に協力 6月 23日 岡山の企業・飲食店と連携、ホコテン！と同時開催したチャリティーイベント「マグロの解体ショー」を実施 8月 18日「グリーン大作戦 2 西川クリーン探検 DAY」を実施 町内会長を通じた町内への呼びかけ、近隣小中学校への広報などを行った他近隣大学との連携企画が実現した 9月 5日「グリーン大作戦 2 落書き消し」を実施 地域の治安向上の取組として西川沿いの店舗の落書き消しを行った ホコテン！、県庁通り事業、サタデーナイトカーニバル等、近隣エリアを含む様々な取組に積極的に協力・連携した イベント等はいずれも盛況であり次年度以降も継続予定 | <p>【相互理解の原則】</p> <p>団体・協働課が互いにできることを理解し、無理強いすることなく円滑に事業に取り組めた。</p> <p>【目的共有の原則】</p> <p>団体の取組のねらいなどについて、協働課の他にも連合町内会長やまちの様々な関係者としっかり話し合い、相互に理解を深めながら事業を進められた。</p> <p>【対等の原則】</p> <p>団体・協働課とも役割分担が明確で、互いに果たすべき役割を全うすることができた。</p> <p>【自主性及び自立性尊重の原則】</p> <p>団体・協働課とも会議の場で積極的に発言し、互いの状況や意思を確認しながら事業を進められた。</p> <p>【公開の原則】</p> <p>事業実施状況は随時報告されている。また実施事業を団体 HP や FB ページに報告するなど、成果の公開に努めている。</p> |
| <p>【広報による価値向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーペーパーの発行 <ul style="list-style-type: none"> 英語版含むマップ作成 昨年度名づけた通りの名称普及 エリアブランドイメージの醸成および活動報告等のための広報活動 | <ul style="list-style-type: none"> フリーペーパー Vol 3・4 を日本語版・英語版とも発行 フリーペーパー掲載の飲食店マップに昨年度名づけた通りの名称を記載 全国消防救助技術大会にて配布するなど、好評により増刷 エリア内イベント情報を随時更新（雨天情報等も随時更新） 岡山市から情報提供を受け毎月イベント情報を HP に掲載 FB では動画等も活用しながら随時更新（現在フォロワー250名程度） | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>【住み良い街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる西川エリアのニーズ調査 パープルフラッグに象徴されるルール作り | <ul style="list-style-type: none"> “みんなで作る「マチのカルテ」”をWEBサイトに開設 市民がエリア内の危険箇所等の情報を寄せられる場 寄せられた情報の提供について岡山市との連携を検討中 「西川エリアマネジメント推進に伴う地域課題調査」アンケートの実施 地域住民の生活課題を知るニーズ調査実行委員会メンバーとして協力 次年度以降のまち育て協議体事業や他団体との連携事業について、調査結果を踏まえた内容を検討中 各取組にSDGsの観点を取り入れている 持続可能なまちづくりに取り組む団体であることをPRしている パープルフラッグのコンセプトの勉強、まちづくりに関する各種勉強会への参加など、団体としてもまちづくりへの理解を深め、学んだことを事業に反映し続けている | <p>【センターより】</p> <p>平成29年度課題解決ワークショップに始まり、平成30年度モデル事業・ニーズ調査事業、平成31年度モデル事業の実施と、協働のステップを歩んできた。無理強いすることなく、常に対等に話し合いを進め、結果、連合町内会長などまちに関わる多くの方々の協力を得られる団体として活動を続けている。まちづくりは、わかりやすい成果がすぐに得られる性質の取組ではないため周囲の理解を得ることが難しい面はあるが、現在のような誠実な対応と対等な話し合いを続けることが今後の取組の発展、西川エリアの価値向上につながるものと考ええる。</p> |
| <p>【組織体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協賛者の増加に向けたアプローチ 一般社団法人化に向けた動きを進める 都市再生推進法人を目指すための仕組みづくりの検討 | <ul style="list-style-type: none"> 各種取組を通じて周知を図ることを継続している 今後の事業展開をみながら、次年度に法人化を予定している 今すぐに検討が必要な段階ではないが、都市再生推進法人に関する意識を継続して持ち続けている | |